

瀋陽駐在員事務所



当行ブース



場内の様子

日中経済交流

10月18日から19日の2日間に渡り、大連市に於いて「中日貿易投資展示商談会」が開催されました。現状の日中関係から、日本企業を専門にした大規模商談会の開催は各方面から大きな注目を受けました。当事務所は、地元“北海道”の懸け橋役として、当行の海外戦略・北海道長城会・北海道観光PRを目的として参加しました。参加企業は約150社ですが、会場で大きく目を引いたのは日本の地方自治体の熱心なPRです。沖縄、京都、広島等の地方自治体が地元企業と一緒に参加し、熱心な商談、都市PRを繰り広げていました。参加者からは「有効な商談ができた」「日中関係の早期正常化を期待したい」との声が多かったようです。当事務所にも瀋陽市政府、遼寧省政府はじめ中国側から、道内企業の中国ビジネス展開への積極的な支援方針が伝えられています。このような商談会を通じ、少しずつビジネス交流が盛んになって行くことを期待すると同時に「地域間・人的交流の重要性」が今求められています。

山田 光紀

ユジノサハリンスク駐在員事務所



栄光の広場



チエホフ劇場前

サハリンの秋

今月中旬、道内から現地に戻り、サハリンの秋をゆっくり堪能しようと思いきや、秋を語る前に冬が到来。17日には昨年より2日早く初雪観測。現在、雪は積もっていませんが、連日氷点下の寒い朝が続いています。東京では10月に入っても30℃の真夏日もあり、北海道でも紅葉が見ごろだと言うのに、ユジノサハリンスク市内では“秋”を見つけるのが大変です。

日本の場合は、空気が冷たく感じ、緑の葉が徐々に黄色や紅に色づいて行くのが分かりますが、サハリンの秋はこれが一気に訪れ、気付かないうちに終わってしまうので、“黄金の秋”としての印象はより鮮明に記憶されるのかも知れません。

街行く女性も冬物の厚手のコートと手袋、マフラーへと衣替えし、これから半年以上続く“長い冬の幕開け”を強く感じます。

私事ですが、10月末に休暇を取得し、モスクワ、サンクトペテルブルクに“ロシアの秋”を見つけに行つてまいります。日本では“読書の秋”。この秋こそロシアの文豪たちが過ごした邸宅近くを訪れ、肌でロシア文学に浸る最もふさわしい季節なのかも知れません。

三上 訓人

カシコン銀行



カシコン銀行パホンヨーティン本店



カシコン銀行 LINE スタンプ

タイの銀行について

はじめまして。今回は、タイの銀行についてご紹介いたします。

タイには大小合わせて 15 行の銀行があり、その他にも多くの外資系金融機関が存在します（日本の銀行ではメガ 3 行が支店あり）。「バンコク銀行（北洋銀行と提携）、クルンタイ銀行（政府系）、サイアムコマーシャル銀行（王室系）、カシコン銀行（当行と提携）」が大手 4 行として有名です。

その中でも、一番多く日本の地方銀行と業務提携を結び（現在 26 行の他、東京商工会議所、岐阜商工会議所等）、日系企業に強いのがカシコン銀行です。預金量こそ 1 兆 4,283 億バーツ（約 4 兆 4,278 億円）と当行とさほど変わりませんが、支店数 877 支店、従業員数 17,718 名、海外支店 5 か所、海外駐在員事務所 5 か所と規模は非常に大きな銀行です（2013 年 3 月現在）。また、イメージ戦略を重視しており、最近ではカシコン銀行オリジナルの LINE スタンプも登場しております。

現在は小職を合わせ、ジャパンチームには地銀 14 行より 21 名の出向者が在籍。タイ人スタッフは 50 名以上おり、その半数以上は日本留学経験者です。日本語対応可能なスタッフをこれだけ多く抱えている金融機関は他にありません。総合金融商品を日本語対応で提供できる強みがあり好評を得ております。タイにご興味のあるお客様には積極的にご紹介をお願いいたします。

土屋 裕亮